

2024 年度 第 1 回 学校関係者評価委員会 議事録

日 時：2024 年 7 月 17 日（木）15：00～16：40

会 場：岩国YMC A保健看護専門学校 1 階会議室

参加者：宇都宮 幹二 様 卒業生保護者

大隅 紳一 様 なんわ荘 事務長

川村 梨栄 様 岩国市医療センター医師会病院 総務課課長

白銀 優子 様 岩国中央病院 総看護部長（第 3 期卒業生）

江見 享子 様 岩国YMC A保健看護専門学校 校長

西濱 正俊 様 岩国YMC A保健看護専門学校 事務長

藤中 優子 様 岩国YMC A保健看護専門学校 保健看護学科長及び
自己点検・自己評価委員会委員長

欠席者：佐伯 愛 様 岩国みなみ病院 主任看護師

議事内容

1. 報告・審議事項

1) 2024 年度運営方針について

詳細は別紙資料参照

<質疑応答>

委員：空き教室の利用について、一般の方向けに会議室や研修室など貸し出すことはできないのか。

学校：既に一般の方向けに貸し出しを行っている。先日ホームページでも貸室ページを作成・公開をしており、申し込みを受け付けている。

2) 2024 年度入学生の実況

今年度は保健看護学科 29 名、看護学科 14 名が入学した。定員は保健看護学科が 40 名、看護学科が 25 名だが、両学科とも 11 名マイナスと定員を割っている状況である。要因としては、18 歳人口の減少、大学進学志向の強さ、また周南公立大学や下関市立大学の看護学部の新設等、入学者の競争が激しくなっていることが考えられる。

看護学科は柳井准看護学院の閉校や、准看護学校の生徒数も減っており、募集を取り巻く環境が非常に悪い。募集が厳しい状況だが、コンテンツマーケティングを取り入れてのSEO対策やDM、WEB広告等を使用して 1 名でも多くの高校生や保護者に情報が届くように広報活動を行っている。高校訪問も例年 100 校程度訪問をしていたが、今年度は 200 校を目標に訪問も行っている。

<質疑応答>

委員：本院では外国からの技能実習生がいるが、留学生等はいるのか。

学校：留学生は以前いたが、今はいない。広島YMC Aの本部より、留学生を取り込めないかという話がある。広島YMC Aには留学生の学科があり、200 名程在籍してい

るが、ほとんどが大学へ進学している。本校では看護師・保健師の国家試験があるので、日本語のN1のレベルを求めており、留学生となかなかマッチしない。広島YMCAの留学生はベトナム、中国、ネパール等から来ており、IGL医療福祉専門学校はネパールからの留学生が多いと聞く。

委員：病院の方でもネパールも視野に入っているが、まずはミャンマーからの留学生雇用を検討している。

学校：広島YMCAから募集にはエージェントの紹介を介し、1人紹介につき、高額だと聞いている。

委員：エージェントには費用がどうしてもかかる。管理組合が特定技能者を紹介すると15万円と聞くが安い方だと思う。

学校：介護施設ではどうか。

委員：特定技能者の介護に関しては採用しており、各施設に2名ずつ在籍している。真面目に勤務してくれており、年配の患者さんがすごく楽しそうに会話している。

学校：医師会病院の方ではどうか。

委員：以前は在籍していたが、現在はいない。

委員：岩国中央病院では2名いた。1名は事情により学校を中退して帰国した。もう1名は4年間勤めたら返還不要という奨学金を受けており、5年目になったところで帰国した。留学生は生活も見なければならなかった為、費用も高額だった。

委員：岩国YMCAは周南公立大学や3年制の専門学校と比べると学費が高い。学校として特色を出していかなければならないのではないかな。

委員：コンテンツを考えていくにあたって、他のYMCAの様々な看護学科を持つ学校と連携して何かできないかな。

学校：YMCAの中で看護系の学校を運営しているのは本校しかない。ただYMCA活動としてボランティア等は共通しているので、連携はできると思う。

3) 2023年度自己点検自己評価アンケート結果について

詳細は別紙資料参照

<質疑応答>

委員：教員の不足が続いているということだが、何か具体的な対策はされているのか。

学校：心当たりには常に声をかけ、お願いをしているが、人が集まらない。現在は人材紹介の業者をお願いをしている。人材紹介業者から何名か入職しているが、教員は思っていたよりも大変と思う方が多いように思う。時間外勤務や授業等、負担に思っ

て退職されており、入職しても定着が難しい状況である。

委員：学校のホームページに教員募集を出してはどうか。

学校：まだ制作に着手できていない状況であるが、ぜひやっていきたい。

委員：卒業生はSNSをよく利用している。母校がどうなっているか楽しみに見ていると思う。Instagram等に教員募集について出すと効果があると思う。離職とのタイミングもあると思うので、常に発信していくことも大切ではないかな。

委員：退学率の軽減とあるが、退学者数はどのくらいいるのか。

学校：昨年は保健看護学科 5 名、看護学科 1 名が退学した。保健看護学科は全員が低学年となるが、1 年生になって勉強していきながら進路の方向性に気づくことや、実習が始まるところで、対人関係が苦手と思い始める学生がいる。

委員：職場に准看護師の職員もいて、正看護師の学校に行って欲しいという思いもある。通信制の学校もあるが、取り入れてみてはどうか。

学校：教員の数 10 名必要となり、要件を満たせるかという問題がある。通信制では経験年数が 7 年から 5 年に変更になるため、通信制に進学しようと思う方もいると思う。この地域で行うとどうなのか調べてみる必要がある。

委員：ヒヤリハットの事例があったら、学生はレポートを書くのか。

学校：学生に書いてもらっている。学校なので起きたことだけでなく、振り返りに重点を置いて書いてもらっている。

委員：学生の中からヒヤリハットに慣れて、事故になりかけたところでヒヤリハットを出してもらえるようになれば良いと思う。

委員：ICT の活用について、具体的にどんなことに取り組んでいるか。

学校：具体的にはまだできていない。コロナ禍ではオンライン授業を行っていたが、現在はすべて対面で行っている。シミュレーションをするためのモデル人形や模擬電子カルテは導入しているので、それを活用した授業や演習というのも実施していきたいと考えている。

4) 2023 年度学生満足度調査の結果について

詳細は別紙資料参照

<質疑応答>

委員：予定の変更等はどのように発信しているのか。

学校：classroom という学習支援システムからメールで発信している。ただし、大きな変更があった際には時間割表を紙で印刷して配布している。

委員：校則が厳しいとあるが、アルバイトは規制しているのか。

学校：現在は実習の時には飲食のアルバイトは控えるように指導している。コロナの時にはアルバイトを禁止していたが、それ以外では禁止にはしていない。

委員：パソコン購入を推奨されているのか。

学校：パソコン購入は推奨している。外部講師の先生の課題提出や、就職試験でもエントリーシートを送るようになったりとした状況もあり、購入のお願いの文書を出した。文書を出す時には、必ずパソコンを使用するような学習内容や方法を考えるよう学科とも申し合わせたが、昨年 1 年間は使用する機会が少なかった為、学生から意見が出てきた。

委員：研究発表などでパワーポイントは使用しないのか。

学校：パワーポイントは使用しないが、Word で提出してもらっている。

委員：ほとんどの学会ではパワーポイントが使用されており、パワーポイントを使用され

た方が良いと思う。

学校：パワーポイントを使用する授業が保健看護学科にはある。教えるだけでなく、使っていく課題を出していきたい。

委員：就職すると電子カルテの使用や、様々な文章も作成していく。どんどんパソコンに慣れていく方が強みになると思う。

学校：いただいたご意見を学科に降ろして考えてもらうようにする。

委員：授業で使わなかったテキストの購入についてはいかがか。

学校：非常勤講師の科目になるが、事前にシラバスを確認してもらい、購入をしたが、実際に使っていなかったことが判明した。学校の教員であれば、タイムリーに使用する と言えるが、非常勤講師だったことで気づいていなかった。今年度はテキストを使用していただけのように伝えていきたい。

委員：アンケートの中でやや不満、不満という項目がいくつかあるが、自由記載で具体的に内容を書けるようになっているのか。

学校：自由記載の欄があり、記入は可能となっているが、記入は少ない。例えば図書室の使用については、用事がないと記載があった。今はスマートフォン等ネットで調べることが増えているので、そのような意見が出たように思う。

5) その他

特になし

以上

記録：西濱 正俊

2024 年度 第 2 回 学校関係者評価委員会 議事録

日 時：2025 年 2 月 19 日（水）15：00～15：40

会 場：岩国YMCA保健看護専門学校 1 階会議室

参加者：宇都宮 幹二 様 卒業生保護者

大隅 紳一 様 なんわ荘 事務長

津川 智一 様 岩国市医療センター医師会病院 事務部長

白銀 優子 様 岩国中央病院 総看護部長（第 3 期卒業生）

佐伯 愛 様 岩国みなみ病院 主任看護師

江見 享子 様 岩国YMCA保健看護専門学校 校長

西濱 正俊 様 岩国YMCA保健看護専門学校 事務長

藤中 優子 様 岩国YMCA保健看護専門学校 保健看護学科長及び
自己点検・自己評価委員会委員長

欠席者：なし

議事内容

1. 報告・審議事項

1) 学生状況

詳細は資料 1 を参照。

保健看護学科 2024 年度就職内定状況の就職エリアで、その他エリアが 11 名いる。年度によって就職の傾向は変わるが、今年度は関東方面への就職希望者が多かった。

国家試験問題の出題傾向としては、在宅看護や社会保障制度、介護保険制度、災害に関する問題等、現在の社会情勢に沿った問題が増えた傾向がある。

2) 2024 年度自己点検・自己評価アンケートの実施について

詳細は 2023 年度学校関係者評価結果資料を参照。

・教員募集について

前回の学校関係者評価委員会でホームページや Instagram で募集を呼び掛けてみてはとご意見をいただき、ホームページに教員募集ページを作成した。その後 1 名応募が決まり、採用も決定した。Instagram ではまだ実施ができていないが、卒業生も見られるので、活用していきたい。

・募集状況について

現在、どこの専門学校も募集が厳しく、定員割れの看護専門学校や大学が増えている状況である。定員を満たしている学校の特徴としては、国公立や授業料の安い学校が多い。学校の魅力をどのように伝えていくかが課題となっている。

・看護師養成所（2年課程通信制）について

中四国エリアでは日本医療学園附属東亜看護学院と穴吹医療大学校と2校が開校しているが、どこも定員割れの状況である。通信制入学の要件について業務経験年数も7年から5年に変更することも検討されており、今後の動向を確認して検討したい。しかし教員を10名確保しなければ立ち上げられず、現状は厳しいと考えている。

・国際交流、ボランティア等の取り組みについて

今年度初めて岩国米軍基地内にある米海兵隊岩国基地横須賀海軍岩国クリニックの看護師6名にお越しいただき、保健看護学科の4年生、看護学科2年生が交流をした。アメリカの看護制度や、待遇等聞くことができ、学生にとって良い機会になったようである。

<質疑応答>

委員：2025年4月の入学者数はどのくらいか。

学校：まだ入学者数は確定していないが、出願状況は保健看護学科33名、看護学科9名という状況である。

委員：入学者数が少ない状況だと看護学科を閉科するということもあるのか。

学校：経営に関わることであるので、考えていかなければならないが、岩国市からの誘致を受けてできた学校なので、岩国市ともしっかり話をしていかなければならない。准看護師養成校が減ってきており、どこも同じ状況ではあるので、2年課程の学校も徐々に閉校してきている。

委員：社会人と高校新卒の割合はどうか。

学校：新卒の学生がほとんどで、社会人は減ってきている印象である。

委員：子どもが減ってきているので、社会人が入学してもらえるようなアピールがあれば良いのではないか。

委員：社会人だと授業料が気になるのだと思う。岩国市から補助などはないのか。

学校：岩国市は昨年から奨学金が出るようになった。年間60万円奨学金を借りることができるが、卒業後岩国市に住んで、働かないといけないという要件があり、日本学生支援機構の奨学金との併用もできない。

委員：岩国市に住んで、就職をするという条件だが、何年か縛りがあるのか。

学校：修業年限プラス1年間であり、保健看護学科では4年プラス1年の計5年間岩国市で働けば返還が免除となる。

学校：病院の奨学金は少なくなっている印象があるのだが、どうか。

委員：生徒数が少なくなると看護師の確保が難しくなるのであれば、これから検討もしていないといけないと思う。今は確保できているが、数年後は不安もある。

学校：公的な奨学金制度は年々増えてきており、高等教育の修学支援制度は令和7年度から扶養する子どもの数が3名以上いる家庭には授業料が減免されるようになる。在校生からも現在18名申し込みを受けている。

委員：保健師の国家資格を受けて落ちた場合は再チャレンジできるのか。

学校：チャレンジすることができる。

委員：地域によって保健師を受けられる数が違うと来たことがあるが、YMCA は全員が受験できるのか。また学校によって違うのか。

学校：YMCA では全員が受験することができる。大学は選択制としており、全員が受けられるというわけではない。専門学校は厚生労働省管轄であり、選択制が認められていない。大学は文部科学省管轄であり、選択制が認められている。地域の違いというよりかは、大学と専門学校の違いではないか。

委員：推薦枠はあるのか。

学校：よく入学してくれている高校に対して指定校の推薦枠を設けている。高校生としては筆記試験が無く、面接のみのところが良いと思ってもらえているのではないか。

2023 年度学校関係者評価結果をホームページ上に公開する了承を委員の皆様から得た。

3) 2024 年度自己点検・自己評価アンケートの実施について

今年度は 2 月 3 日に常勤職員を対象に自己点検・自己評価アンケートを実施している。

明日が締め切りとなっているので、意見が出揃ったらまとめていく。

次回の学校関係者評価委員の時に自己点検・自己評価アンケートと学生満足度調査の結果をご報告したい。

4) その他

特になし

以上

記録：西濱 正俊